

## — 小テストの作成：記述問題 —

問題のタイプ「**記述問題**」を選択します。



「問題名」、「問題テキスト」、「デフォルト評点」、「正解」を入力します。問題名はコース内で管理しやすいように規則性を持たせます。

### 記述問題の追加

▶ [すべてを展開する](#)

▼ 一般

カテゴリ

問題名

問題テキスト 

ハードディスクは一般的なデータ記憶装置の中で最も\_\_\_\_\_が大きく、データの読書きが高速で、安価である。

デフォルト評点

ここでは、解答の候補が2つあるので、それぞれ記入し、「評点」は100%にします。

この例では講義の内容から、「容量」と書いても「記憶容量」の意味に解釈できるので、いずれも正解にしています。

これ以外に、解答の候補を想定しなくてはならない場合として

- ①送り仮名の有無： 貸出、貸し出し、貸出し
- ②漢字/ひらがなの表記： 平仮名、ひらがな

などがあります。②の場合、あらかじめ「漢字で書け」と指示を出しておけば、解答の記述方法は限定されます。

ローマ字で答える場合、「半角文字」と「全角文字」がありますので、通常の場合「**英数文字で入力する**」と指示しておくことをおすすめします。（必ずしも作問者が意図したとおりに解答者が入力するとは限りません。）

The screenshot shows the Moodle question editor interface. At the top, there is a dropdown menu labeled '答え' (Answers). Below it, there are two answer options. The first option is labeled '答え1' (Answer 1) and has the text '記憶容量' (Memory Capacity) entered in the text box. The second option is labeled '答え2' (Answer 2) and has the text '容量' (Capacity) entered in the text box. Both text boxes are highlighted with red boxes. To the right of each text box is a '評点' (Score) field set to '100%'. Below each text box is a 'フィードバック' (Feedback) area with a rich text editor toolbar. The toolbar includes buttons for undo, redo, bold, italic, list, link, unlink, image, video, audio, and help.

「答え」と「評点」の両方が入力されていることを確認し、「変更を保存する」をクリックします。

設定したカテゴリに問題が1問追加されました。引き続き問題を作成していくために、「新しい問題を作成する」をクリックします。これ以降、問題の追加を行うための作業は、上記の繰り返しとなります。